

平成29年度尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画の進捗状況の公表について

平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間を計画期間としている尾張北部地域（第1小ブロック）循環型社会形成推進地域計画について、平成29年度実績における計画の進捗状況は以下のとおりです。

1 目標に対する進捗状況

（ごみ処理）

【尾張北部地域（第1小ブロック）】

		現 状(割合) ^{※1}	実 績(割合) ^{※1}	目 標(割合) ^{※1}
		(平成27年度)	(平成29年度)	(平成34年度)
排出量	事業系 総排出量 ①	15,104 トン	14,993 トン (-0.7%)	14,274 トン (-5.5%)
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	1.79 トン/事業所	1.85 トン/事業所 (3.4%)	1.69 トン/事業所 (-5.6%)
	家庭系 総排出量 ②	49,637 トン	48,041 トン (-3.2%)	47,499 トン (-4.3%)
	1人当たりの排出量 ^{※3}	163 kg/人	162 kg/人 (-0.6%)	158 kg/人 (-3.1%)
	集団回収量 ③	5,254 トン	4,511 トン (-14.1%)	5,597 トン (6.5%)
	排出量合計 ①+②=④	64,741 トン	63,034 トン (-2.6%)	61,773 トン (-4.6%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	69,995 トン	67,545 トン (-3.5%)	67,370 トン (-3.8%)
再生利用量	直接資源化量	3,111 トン (4.8%)	2,770 トン (4.4%)	2,927 トン (4.7%)
	総資源化量	13,389 トン (20.7%)	11,761 トン (18.7%)	13,137 トン (21.3%)
	総資源化量(集団回収量含む)	18,643 トン (26.6%)	16,272 トン (24.1%)	18,734 トン (27.8%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—	—	0 MWh ^{※4}
減量化量	中間処理による減量化量	45,061 トン (69.6%)	44,822 トン (71.1%)	42,694 トン (69.1%)
最終処分量	埋立最終処分量	6,291 トン (9.7%)	6,449 トン (10.2%)	5,942 トン (9.6%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量(④)に対する割合

ただし、総資源化量(集団回収量含む)については総排出量合計(⑤)に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = { (家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

※4 熱回収を行う新ごみ処理施設の供用開始は平成37年度の予定

《指標の定義》

排出量 : 事業系、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く)[単位: トン]

再生利用量 : 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位: トン]

熱回収量 : 熱回収施設において発電された年間の発電電力量[単位: MWh]

減量化量 : 中間処理量と処理後の残さ量の差[単位: トン]

最終処分量 : 埋立処分された量[単位: トン]

【犬山市】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(平成29年度)		(平成34年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	6,071 トン		6,025 トン	(-0.8%)	5,675 トン	(-6.5%)
	1事業所当たりの排出量	2.26 トン/事業所		2.32 トン/事業所	(2.7%)	2.11 トン/事業所	(-6.6%)
	家庭系 総排出量 ②	16,172 トン		15,826 トン	(-2.1%)	15,072 トン	(-6.8%)
	1人当たりの排出量	168 kg/人		170 kg/人	(1.2%)	164 kg/人	(-2.4%)
	集団回収量 ③	1,518 トン		1,253 トン	(-17.5%)	1,346 トン	(-11.3%)
	排出量合計 ①+②=④	22,243 トン		21,851 トン	(-1.8%)	20,747 トン	(-6.7%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	23,761 トン		23,104 トン	(-2.8%)	22,093 トン	(-7.0%)
再生利用量	直接資源化量	3,085 トン	(13.9%)	2,749 トン	(12.6%)	2,900 トン	(14.0%)
	総資源化量	3,887 トン	(17.5%)	3,573 トン	(16.4%)	3,650 トン	(17.6%)
	総資源化量(集団回収量含む)	5,405 トン	(22.7%)	4,826 トン	(20.9%)	4,996 トン	(22.6%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—		—		0 MWh ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	15,567 トン	(70.0%)	15,589 トン	(71.3%)	14,496 トン	(69.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,789 トン	(12.5%)	2,689 トン	(12.3%)	2,601 トン	(12.5%)

【江南市】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(平成29年度)		(平成34年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	5,305 トン		5,013 トン	(-5.5%)	4,871 トン	(-8.2%)
	1事業所当たりの排出量	1.47 トン/事業所		1.44 トン/事業所	(-2.0%)	1.35 トン/事業所	(-8.2%)
	家庭系 総排出量 ②	20,874 トン		19,825 トン	(-5.0%)	19,971 トン	(-4.3%)
	1人当たりの排出量	159 kg/人		158 kg/人	(-0.7%)	156 kg/人	(-1.9%)
	集団回収量 ③	2,018 トン		1,609 トン	(-20.3%)	2,220 トン	(10.0%)
	排出量合計 ①+②=④	26,179 トン		24,838 トン	(-5.1%)	24,842 トン	(-5.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	28,197 トン		26,447 トン	(-6.2%)	27,062 トン	(-4.0%)
再生利用量	直接資源化量	0 トン	(0.0%)	0 トン	(0.0%)	0 トン	(0.0%)
	総資源化量	5,600 トン	(21.4%)	4,601 トン	(18.5%)	5,424 トン	(21.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	7,618 トン	(27.0%)	6,210 トン	(23.5%)	7,644 トン	(28.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—		—		0 MWh ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	18,386 トン	(70.2%)	17,893 トン	(72.0%)	17,353 トン	(69.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,193 トン	(8.4%)	2,342 トン	(9.4%)	2,065 トン	(8.3%)

【大口町】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(平成29年度)		(平成34年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	2,246 トン		2,418 トン	(7.7%)	2,100 トン	(-6.5%)
	1事業所当たりの排出量	2.33 トン/事業所		2.56 トン/事業所	(9.9%)	2.18 トン/事業所	(-6.4%)
	家庭系 総排出量 ②	5,537 トン		5,472 トン	(-1.2%)	5,675 トン	(2.5%)
	1人当たりの排出量	153 kg/人		152 kg/人	(-0.7%)	149 kg/人	(-2.6%)
	集団回収量 ③	1,160 トン		1,213 トン	(4.6%)	1,190 トン	(2.6%)
	排出量合計 ①+②=④	7,783 トン		7,890 トン	(1.4%)	7,775 トン	(-0.1%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	8,943 トン		9,103 トン	(1.8%)	8,965 トン	(0.2%)
再生利用量	直接資源化量	0 トン	(0.0%)	0 トン	(0.0%)	0 トン	(0.0%)
	総資源化量	2,449 トン	(31.5%)	2,253 トン	(28.6%)	2,569 トン	(33.0%)
	総資源化量(集団回収量含む)	3,609 トン	(40.4%)	3,466 トン	(38.1%)	3,759 トン	(41.9%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—		—		0 MWh ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	4,739 トン	(60.9%)	4,994 トン	(63.3%)	4,628 トン	(59.5%)
最終処分量	埋立最終処分量	595 トン	(7.6%)	643 トン	(8.1%)	578 トン	(7.4%)

【扶桑町】

		現 状(割合) ^{※1}		実 績(割合) ^{※1}		目 標(割合) ^{※1}	
		(平成27年度)		(平成29年度)		(平成34年度)	
排出量	事業系 総排出量 ①	1,482 トン		1,537 トン	(3.7%)	1,628 トン	(9.9%)
	1事業所当たりの排出量	1.26 トン/事業所		1.38 トン/事業所	(9.5%)	1.38 トン/事業所	(9.5%)
	家庭系 総排出量 ②	7,054 トン		6,918 トン	(-1.9%)	6,781 トン	(-3.9%)
	1人当たりの排出量	168 kg/人		161 kg/人	(-4.2%)	160 kg/人	(-4.8%)
	集団回収量 ③	558 トン		436 トン	(-21.9%)	841 トン	(50.7%)
	排出量合計 ①+②=④	8,536 トン		8,455 トン	(-0.9%)	8,409 トン	(-1.5%)
	総排出量合計 ③+④=⑤	9,094 トン		8,891 トン	(-2.2%)	9,250 トン	(1.7%)
再生利用量	直接資源化量	26 トン	(0.3%)	21 トン	(0.2%)	27 トン	(0.3%)
	総資源化量	1,453 トン	(17.0%)	1,334 トン	(15.8%)	1,494 トン	(17.8%)
	総資源化量(集団回収量含む)	2,011 トン	(22.1%)	1,770 トン	(19.9%)	2,335 トン	(25.2%)
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	—		—		0 MWh ^{※4}	
減量化量	中間処理による減量化量	6,369 トン	(74.6%)	6,346 トン	(75.1%)	6,217 トン	(73.9%)
最終処分量	埋立最終処分量	714 トン	(8.4%)	775 トン	(9.2%)	698 トン	(8.3%)

2 地域の循環型社会形成推進のための施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		施策の実施状況					
					開始	終了	犬山市	江南市	大口町	扶桑町	江南丹羽環境管理組合	尾張北部環境組合
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	処理手数料の適正化(有料化の検討)	ごみ処理費用負担の適正化	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・2市2町担当者による指定ごみ袋の統一及び有料化の検討	・近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施	・有料化を行なっている。	・事業系ごみの処理手数料について、近隣市町の動向を見つつ、調査研究を実施している。	・廃棄物処理手数料については、近隣施設の動向を見つつ、調査研究を実施	
	12	環境教育、環境学習の推進・啓発	出前講座等の実施、小学生向けの副読本の作成、環境施設見学会の実施、住民・事業者への情報提供等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・出前講座の実施、小学生向けの副読本の作成及びごみ処理施設見学会の実施 ・スマートフォンに対応したごみ分別アプリを導入(ごみ出し日の通知機能、分別区分の検索機能等) ・ごみ収集カレンダーにベトナム語、タガログ語を追加	・要望のあった地区や保育園・小学校への出前講座の実施。 ・小学生の環境美化センターの施設見学の実施。 ・親子でリサイクルについて学ぶための施設見学の実施。 ・大人の方たちがリサイクルやごみ処理について学ぶための施設見学を実施。	・毎年3月に一部地域において、ごみ分別の出前講座を実施 ・小学生の資源リサイクルセンターの見学	・地区等からの申請に基づき、出前講座を町内7ヵ所8地区で実施した。 ・小学校3年、4年生向けの副読本に、ごみの処理と利用について記載している。 ・環境美化センターの見学学習に4小学校362人、地区衛生委員31人が参加した。 ・資源やごみの分別・収集日について、住民に配布される年間カレンダーや、広報紙、ホームページに記載した。 ・地球環境保護宣言事業において、環境映画の上映を実施し、629名が参加した。 ・地球環境保護ポスター作品展を実施し、258点の応募を受け、20点を展示した。	・ごみ処理施設及び最終処分場の施設見学会を実施	
	13	発生抑制	生ごみの減量及びリサイクルの推進、レジ袋削減への取り組み、食品ロス削減の推進等	犬山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・食品ロス削減のための30・10運動の推進 ・事業系ごみ削減のための事業系ごみ分別リーフレットを配布 ・剪定樹木粉砕機の貸出 ・生ごみ処理機購入費への助成	・生ごみ処理機等の補助金の交付。 ・市内スーパー等とレジ袋削減について協定の締結を実施。 ・食品ロス削減のため、「30・10運動」の推進、フードライブの実施。	・一部地域において、生ごみの堆肥化事業を実施。 ・生ごみ処理機の助成金。 ・剪定枝・草の拠点回収。 ・レジ袋有料化の取組みを実施	・生ごみ処理機等購入補助事業において、生ごみ堆肥化容器6基の購入に対して助成を行った。 ・町内店舗5件において、レジ袋の有料化を行っている。 ・食品ロスの削減について、広報紙に記載した。 ・町内事業者に対し、事業系ごみの減量及びリサイクルについてのパンフレットを配布し、指導・案内を行った。		

発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	再使用・資源化の取り組みの推進	不用品交換情報の広報等への掲載や市民団体等へのフリーマーケット等の開催支援、集回収活動に対する奨励金（助成金）制度による資源回収の推進、常設の資源回収拠点の設置等	大山市 江南市 大口町 扶桑町 江南丹羽環境管理組合	継続	継続	・わん丸リサイクル小屋及び産業振興祭でのリサイクル家具等の安価譲渡 ・資源回収奨励金対象者の拡大 ・廃食用油の回収	・不用品交換をあっせんする、リサイクルバンク事業について、毎月広報、ホームページへ掲載。 ・毎年開催している環境フェスタ江南においてフリーマーケットを行う方を募集し、フリーマーケットを行う機会を提供している。 ・市内で資源ごみを回収している団体へ助成金の交付。 ・常設の資源ごみステーションを設置。	・集団回収活動に対する助成金を実施 ・一部の地域における資源ごみの常時回収を実施	・市民団体による、毎月1回開催したりユースショップや、平成30年3月11日に開催した東日本大震災復興みちのく未来基金応援企画としてのリユースショップ、年2回開催したフリーマーケットに対し、支援を行った。 ・廃品再利用コンテスト作品展を実施し、63点を展示した。 ・資源ごみ集団回収事業奨励交付金事業において、456トンの資源回収に対して補助を行った。 ・常設の資源ごみ回収拠点において、年間19、171人の利用があった。	・ごみ搬入検査を実施し、資源ごみ混入状況を把握し、分別指導に活用
処理体制の構築、変更に関するもの	21	収集運搬	ごみ出し、収集に対する体制の検討	大山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・2市2町担当者による新ごみ処理施設に運搬する分別区分の検討	・市民の方の意見・要望をまとめ、調査研究をする。	・可燃ごみ袋の戸出しを集約し、まとめ、収集効率を上げる。	・2市2町で新ごみ処理施設建設に係る作業部会を開き、分別区分の統一などを検討している。	
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	事業番号1、2に係る環境影響評価等業務	環境影響評価等	尾張北部環境組合	H29	H33					・環境影響評価向け配慮書手続きを実施
		事業番号1、2に係るPFI等導入可能性調査業務	PFI等導入可能性調査	尾張北部環境組合	H29	H29					・PFI等導入可能性調査を実施
その他	41	不法投棄対策	不法投棄防止パトロールの実施等による不法投棄の監視体制の強化	大山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・不法投棄防止のための監視カメラの設置及びパトロールの実施 ・不法投棄の通報があった場合の土地占有者責任の説明及び対応	・不法投棄について、要望があった際にはパトロールの実施、防犯カメラの貸出。	・環境保全委員による監視活動を実施。	・不法投棄監視ウィークに、河川の不法投棄物の監視等を実施した。 ・扶桑町環境保全推進委員や、愛知県地域環境保全委員による不法投棄の監視を実施した。	
	42	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害時の廃棄物処理計画の策定、円滑かつ適正に処理できる体制の整備	大山市 江南市 大口町 扶桑町	継続	継続	・災害廃棄物処理計画策定に向けた調査・研究	・平成30年度内に災害廃棄物処理計画の策定予定。 ・災害時における協定についてし尿処理関係や愛知県産業廃棄物協会と締結。	・平成30年度災害廃棄物処理計画の策定予定。	・災害廃棄物処理計画の策定に向けて準備をしている。	

3 目標に対する進捗状況に関する評価

○排出量

排出量については、平成 29 年度実績では以下のとおり目標に達していない状況となっている。引き続き、住民・事業者に対して発生規制に関する周知啓発を図るよう努めていくものとする。

- ・排出量合計は、目標の 61,773 トンに対して平成 29 年度実績が 63,034 トンであり目標に達していない。
- ・事業系については、総排出量が目標の 14,274 トンに対して平成 29 年度実績が 14,993 トン、事業系資源ごみを除いた 1 事業所当たりの排出量が目標の 1.69 トン/所に対して 1.85 トン/所であり目標に達していない。
- ・家庭系については、総排出量が目標の 47,499 トンに対して平成 29 年度実績が 48,041 トン、家庭系資源ごみを除いた 1 人当たりの排出量が目標の 158 kg/人に対して 162 kg/人であり目標に達していない。

○再生利用量

再生利用量については、平成 29 年度実績では以下のとおり目標には達していない状況となっている。引き続き、環境教育、啓発活動の充実を推進するとともに、新たな資源回収拠点の開設等により、市民の資源排出機会を増加させるよう努めていくものとする。

- ・直接資源化量は、目標の 2,927 トン（排出量に対する割合 4.7%）に対して平成 29 年度実績が 2,770 トン（排出量に対する割合 4.4%）であり目標に達していない。
- ・総資源化量は、目標の 13,137 トン（排出量に対する割合 21.3%）に対して平成 29 年度実績が 11,761 トン（排出量に対する割合 18.7%）であり目標に達していない。

○熱回収量

熱回収量については、既存施設では実施しておらず、平成 37 年度から供用開始予定の新ごみ処理施設において行う予定としている。

○減量化量

減量化量については、目標の 42,694 トン（排出量に対する割合 69.1%）に対して平成 29 年度実績が 44,822 トン（排出量に対する割合 71.1%）であり目標に達している。引き続き、処理施設において、より効率的な処理を行えるよう施設を運営していく。

○最終処分量

最終処分量は目標の 5,942 トン（排出量に対する割合 9.6%）に対して平成 29 年度実績が 6,449 トン（排出量に対する割合 10.2%）であり目標に達していない状況になっている。引き続き、処理施設において、より効率的な処理を行えるよう施設を運営していく。